

ご存じですか

9月9日は「救急の日」です

9月9日は「救急の日」、そして9月5日から9月11日までの1週間は「救急医療週間」です。この機会に、救急車の利用方法などについてご家族で話し合ってみてはいかがでしょうか。

飯館分署の集計結果では今年1月からの救急車の出動回数は、7月末現在で155件と、前年の同時期に比べて39件減っています。

出動の内訳は、急病が最も多く、次いで転倒などによるケガ。時間帯は夜間が多いようです。また、年代では65歳以上の方が多いという結果になっています。

助かるはずの「命」を助けるために

飯館分署では、普通救命講習会の受付けを



やまゆり保育所での普通救命講習会のようす

随時行っています。イザという時、愛する家族の命を守るため、応急手当の基礎知識や技能を身につけましょう。少人数での受講も可能ですので、お気軽に飯館分署救急係（☎42 0119）までご連絡ください。



猛暑三感

暑い夏が過ぎようとしています。

この夏、暑かったからでしょうか、特に感じたことがあります。

その一つは、「いいいたて夏まつり」までいライフィンあいの沢」の中で、各行政区の皆さんの熱意や協働が一段と充実していたということ。忙しい中、各行政区が工夫しながら祭を盛り上げようとする意気込みが、ひしひしと伝わってきて、うれしくなっていました。

「牛肉フェスティバル時代より中味の濃い祭になっていくな」と当口の暑さ以上に感じたことでした。

もう一つは、飯館村には盆が近づくと、いわゆる「盆道刈り」と称し、全戸出役して村道などの草刈りをしてもらっています。今年の夏

は暑さからでしょうか、刈り終わった道路のさっぱりさは、床屋さんにいつてきた後のように特にすがすがしく感じ、「この事業の素晴らしさやありがたさを改めて運転しながら感じたことでした。

三つ目は、深谷街道の1・5kmに及ぶ花の美しさです。床をつくり、苗を植え、草をむしり、管理する。それも1・5kmも。想像しただけでも大変です。暑さ厳しい中ゆえ、中学生や高校生、そして地元の有志の方々の「村の印象を良くしたい」という気持ち、今年はいより一層伝わってきたところでした。このような思いは私以外の方でも多く感じられたのではないのでしょうか。

記録的な今年の猛暑。

村民の心意気やパワーに、猛暑以上に私の心に熱く焼きつかされた夏でした。

「いい村」をさらに感じて、「いい夏」だったという思いで一杯です。

平成16年8月26日

飯館村長 菅野 典雄